

平成30年度

第1回

自己評価委員会報告書

於：平成30年7月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

# 自己評価委員会報告書

日 時：平成30年 7月 4日（水） 10：30～12：30

場 所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者名：(学園) 長尾理事長・嶋村副理事長・吉川事務局長・桐山就職部主任

(学校) 松林校長・柏原教務主任

長尾理事長挨拶

今年度、松本校が無事、職業実践専門課程認定校になることが出来、今後継続していかなくてはならない。自己評価することで、両校共にレベルの高い学校になってきた。学校の発展のために自己評価は重要であると考え。良い意見を出し合い、向上し続けてほしい。

## 【審議検討事項】

### 1. 平成30年度自己点検・自己評価について

30年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営1項目・教育活動の4項目・学修成果1項目  
学生支援3項目・学生募集と受け入れ2項目・財務2項目・法令等の順守項目について、評価4について  
継続的に向上した部分と3から4に評価改善された部分の報告。

評価3の部分については、今年度末には評価4になるように、頑張っていく必要がある。

基準7について、評価4から3になっているが、学生募集については全力投球しているので、評価4のまま良いのでは。対外的な評価として考えるべきである。今年度、両校共手ごたえを感じているので継続して評価4としていく。

### 2. 平成30年度重点目標について、中間報告

#### ① 教育活動 ②学修成果

中間報告として、現時点で30年度重点目標の実施状況の報告

認定校取得を目指して意識を高く、支援サロンとの協力体制を強化していきたい。

#### ② 学生募集と就職

AO入試に対する方策。高校回りを実施し、高校との信頼関係は構築できている。基本的に地元志向である。

HPに卒業生の活躍状況を積極的に掲載していく。改善をし、良い情報を発信していく必要がある。今後、31年2月までに重点目標についてと課題についても、結果を出していきたい。

### 3. 学校関係者評価委員会より報告

- ・平成29年度自己評価報告
  - ・重点目標中間報告 29年度実施報告
  - ・平成30年度重点目標 ①教育活動 ②学修成果 ③学生募集と就職
  - ・学校関係者評価委員より提言 各項目・重点目標について
- 以上が、学校関係者評価委員会にて検討した事項の報告

※学校関係者評価委員会の在り方について、職業実践専門課程認定校に向けての教科課目に対する委員からの評価をしてもらう必要がある。

4. 嶋村副理事長挨拶

自己評価委員会・学校関係者評価委員会の在り方を再確認して頂きたい。認定に向けて重要な部分である。自己評価とは、自分たちがたてた目標がどこまでできたかの評価。その自己評価に対する意見を他者評価として、学校関係者評価委員より意見を頂く。情報が重要となる時代であるので、いかに多くの情報を外部から入手し、いかに上手に取り入れることが出来るのかが、重要である。

いずれは、第3者からの評価を公正にしていく時代がくるのでは。同一の項目について、同一の評価基準のもと評価される時代である。

5. 次回第2回自己評価委員会 平成31年2月25日(月) 10:30～(松本校)  
30年度自己評価まとめ

平成30年度

第1回

学校関係者評価委員会報告書

於：平成30年8月

学校法人長野県理容美容学園

長野理容美容専門学校

## 第1回学校関係者評価委員会 報告書

日時：平成30年8月 8日（水）10：30～12：30

場所：長野理容美容専門学校 校長室

出席者：(株)アルファ代表取締役 杉山 一真先生

(有)早川美容商事サロン企画マネージャー 早川 芳弘先生

松林校長・吉川事務局長・柏原教務主任・桐山広報企画部長

松林校長より 今年度、職業実践専門課程認定を獲得するため、忌憚ないご意見を頂戴したいです。

会議のご意見をきちんと学校運営に反映させていきたい。

### 【議題】

#### 1. 平成30年度第1回自己評価委員会報告

30年度中間報告として、教育理念の2項目・学校運営1項目・教育活動の4項目・学修成果

1項目・学生支援3項目・学生募集と受け入れ2項目・財務2項目・法令等の遵守項目について、継続された評価4の項目と、3から4に評価改善された項目の報告。

評価3の項目については、今年度末には評価4になるように、改善する必要がある。

基準7について、評価4から3になっているが、学生募集については涉外として多くの方策の実施や広報活動をしており、評価4のままで良いのでは。今年度、取り組みには手ごたえを感じているので継続して評価4としていく。

前年度の意見を参考にさせて頂き、少しずつだが改善することが出来ている。

(基準1) 教育理念・目的・育成人材像等

・評価4であるが、学校の特色として全国規模の大会においての、結果を具体的に明記する形式に変更した。

(基準2)

・30年度から学生証のカード化を実施。入学時多少のトラブルがあったが、現在は対応済である。

(基準3) 教育活動

・法改正に伴い、国家試験内容の変化。全国統一化内容に対して、2か年計画をもとにスムーズに進める事が出来ている。

・職業実践に結びつく、外来講師のカット授業と、ヘアカバリ検定に向けての授業・パーソナルカラー検定の授業・計画が進んでいる。各クラス差がないように、事前打ち合わせを綿密に行い、熱心に取り組んでもらえている。

・副任の教員がいるため、昨年度より手厚い指導ができています。

(基準4)

・卒業生の活躍を昨年度より伝える形式が実施出来ている。卒業生を通じて、美容師の魅力をオープンキャンパス・ニューヘア講習時に伝える事が出来ている。

(基準5) 学生支援

・学生寮を確保し、必ず、入寮前に保護者・本人に対し、入寮説明会を実施している。

・就労条件向上のために、学校支援サロンに対し就職セミナーを開催し、高校生の動向及び業界発展のために必要な内容を理解して頂いている。今後も定期的に就職セミナーを開催していく。

#### (基準7) 学生募集と受け入れ

- ・今後より一層、学生募集状況は厳しくなると考えている。本学園独自の魅力を伝え（国家試験合格率100%・就職内定率100%・全国規模のコンテストでの好成績・教育内容の充実・支援サロンとの協力体制等）選んでもらえる学校をPRしていく必要がある。
- ・今年度学生数が減少した一因として、中南信地区の就職率の高さが1番である。
- ・県内の高校廻りを実施してみて、地元志向の学生が増えてきている傾向。就職率についても昨年度より減少傾向であると感じた。
- ・学校のInstagramを始めている。今の所問題はないが、今後、個人情報の管理方法等きちんと検討していく必要がある。
- ・卒業生とのパイプラインを太くする必要があるため、今後、HPを中心に情報収集できるよう、業者に依頼しており、HPにて卒業生から高校生に向けたメッセージを作成していく。
- ・理容科支援サロンとの協力体制完備。定期的に懇談会を開催し、意見交換を行っている。選択科目授業において、サロン技術の授業も実施している。(カット・カラー・スパニスト等)
- ・平成31年度美容科2年次における選択実習授業を導入するためのカリキュラム編成を整えている。インスタ映えなどの撮影技術・ネイル応用・特殊メイク・サロンパーマ技術を導入する。

#### (基準8) 財務

- ・財務面での処理については、正確な会計処理が実施されている。記述方法として、資金収支(消費)を事業活動に変更。
- ・学校法人会計基準に基づき、適正な会計処理が実施され、業務及び経理状況の会計監査が行なわれ、会計年度終了後2ヶ月以内に理事会及び評議員会に報告している。

#### (基準9) 法令等の遵守

- ・学生便覧に学則が明記されている。また「学生指導内規」もあり、学生、教職員が共有している。

### ② 平成30年度重点目標中間報告について

#### (1) 教育活動 (2) 学修成果

中間報告として、現時点で30年度重点目標の実施状況の報告

- ・報告・連絡・相談を密にし各クラス差をなくし、合同授業・姉妹学級授業を実施している。
- ・1年旧学者2名・退学者1名と、昨年度より早い時期に出てきているため、職業意識や達成感を持たせ、それぞれの学生に見合った目標設定の提案をし指導を行っている。
- ・校外活動として、ボランティア・各種コンテストに積極的に参加させ、良い成果を出すことが出来ているので、今後も継続していきたい。

#### (3) 学生募集と就職

- ・AO入試に対する方策。高校廻りを実施し、高校との信頼関係は構築できている。基本的に地元志向である。
- ・HPに卒業生の活躍状況を積極的に掲載していく。改善をし良い情報を発信していく必要がある。
- ・在校生へのアンケート結果を参考にし、本校の魅力を最大限に伝えられるよう、在校生の満足度が、学生募集につながっていくと考える。
- ・31年度より実施する美容科自由選択授業において、自由選択による問題点もあるので、今後、検討していく。本校の特色としていきたい。

今後、31年2月までに重点目標並びに課題についても、結果を出していきたい。

### ③ 職業実践専門課程について報告

- (1) ヘアカラー：平成30年度より実施予定であるヘアカラリスト検定シングルスター受験に向けた教職員研修の実施。現場で活用できる技術を学ぶ。
- (2) カット：支援サロン講師によるカット授業を実施している。反省点・課題を明確にし、後半の授業に反映していく。
- (3) メイク：日本メイクアップ協会認定2・3級検定取得。  
テーマに応じたメイクのプランニング。メイクコンテストを実施。  
2年次、特殊メイク。エアブラシ使用方法を学ぶ。
- (4) ネイル：I N A A検定取得  
サロンネイル・エアブラシ等を使用したトレンドネイルの各種技法。2年次にジェルネイルを導入。
- (5) コミュニケーション：接客に欠かせない話法・所作・心理などを学ぶ。就職に向けての自己分析・目標設定等を学んでいる。サービス接客検定資格取得。  
今後、職員対象の講習会を実施していく。いろいろな学生に対する指導に参考となるカウンセリングについての講習会を検討していく。

## 2. 学校関係者評価委員より提言

(杉山委員より)

- ・職員が同じ方向を向いているのか。チームワークの大切さを再確認し美しい人間関係を構築していくことが大事なのは。全国理容美容甲子園に向けての取り組みをみて、協力体制が出来てきていると感じている。
- ・中退学者を無くすために、先生側からの夢への持って行き方も重要なのでは。必ず、辞めた理由を聞き出すこと。見過ごしている原因を確実に把握していくこと。  
学生たちが、学校生活において、存在価値を見いだせているか。居場所を持たせてあげること。教育者として、親として導いて行ってほしい。美容の教育者としての在り方を常に考えて行動してほしい。
- ・学生達に自分の良さを気づかせられていないのでは。楽しさを見出させてほしい。1つ良い所を磨かせること。個性を殺させない。オリジナリティを活かせる、おもしろさ・良い所を1つでも見つけ褒める教育をしてほしい。情熱を持って関わること、先生たちが自信を持ち謙虚に対応して行ってほしい。

(早川先生より)

- ・辞める人は好きなことを見つけられていないのでは。1つでも好きなこと・夢中になれる事を見出してあげる教育をしてほしい。努力・義務のみでなく、個人に寄り添う教育が大切なのは。
- ・ボランティア活動について、社会福祉授業で実施していることは、大変素晴らしいので今後も継続して行ってほしい。その他に校外イベントへも、積極的に参加するべきでは。3月実施のSBCこどもフェスタ・長野放送イベント9月実施など。
- ・メディア・情報に流されない教育をするべきでは。メディアリテラシー（メディア教育）が必要となってきた時代である。講師を早川先生に依頼。
- ・就職セミナーはとても有意義であるため、毎年開催して行ってほしい。

(学校より)

- ・校外イベントについては、日程が合えば参加していきたい。

3. 次回予定 第2回学校関係者評価委員会 平成31年3月8日（金） 10：30～